

中部労災病院を受診された、及び治療中の患者様へ

当院では下記の要領で臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	腎生検で診断の得られた希少6腎疾患の臨床像と病理学的特徴の検討に関する研究
当院の研究責任者 (所属)	リウマチ膠原病・腎感染症内科 猪飼浩樹
他の研究機関および 各施設の研究責任者	日本医科大学 病理学（解析人体病理学）教室 教授・清水 章
本研究の目的	希少6腎疾患（Castleman病・クロー深瀬症候群・TAFRO症候群 / 原線維性糸球体腎炎・イムノタクトイド糸球体症 / IgA沈着による膜性腎症 / 高リン脂質抗体症候群 / クリオグロブリン血症性糸球体腎炎 / Light chain proximal tubulopathy）の症例を日本腎病理学会の会員が持ち寄り、病理学的特徴をはじめ臨床的診断との関連を明らかにする。
調査データ 該当期間	（西暦）2020年06月10日～（西暦）2023年03月31日
研究の方法 (使用する試料など)	<p>●対象となる患者さま 日本腎病理学会のメンバーが所属する研究機関にて、腎疾患の診断目的のために腎生検を受けられ、病理診断に提供された患者さんの検体と臨床情報を用いて、希少6腎疾患の病理学的特徴を調査する研究で、光学顕微鏡や免疫蛍光染色所見と臨床症状の関連を検討します。</p> <p>●利用する情報 試料：診断目的で採取された腎臓の生検病理組織 情報：年齢、性別、既往歴、家族歴、腎機能、尿・血液検査項目、等</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 およびその方法	日本腎病理学会の認定施設において過去に診断のために行われた腎生検検体の内、会員が希少6腎疾患と診断した症例を集積し、各疾患の特徴を臨床病理学的に解析して考察する。 臨床情報（年齢、性別、背景疾患・腎機能や尿所見など）に関する情報は、病理検査申込書、電子カルテや臨床情報管理室から入手し、病理学的所見と臨床所見との相関や疾患の臨床病理学的特徴を検討する。病理所見の解析は必要に応じてwhole slide imagingで病理スライドをデジタル画像化し、病理画像解析ソフトを用いて解析する。
個人情報の取り扱い	腎生検から作成された既存の病理組織検体はすべて匿名化する。 個人情報と検体の対応表の作成は各参加施設が行い、日本医科大学（解析人体病理学教室）には既に匿名化された試料・情報が提供される。日本医科大学において、対応表の保管は研究データベースと異なるパスワード付き外部ハードディスクに保管し、鍵のかかるキャビネットで管理する。または各参加施設が定めた管理基準に従って管理を行う。患者個人のプライバシーが侵害されることはない。なお、学会発表、論文においてこれらのデータは日本腎病理学会代表世話人である清水が管理し、研究終了後に直ちに破棄する。
本研究の資金源 (利益相反)	日本腎病理学会助成金

お問い合わせ	独立行政法人労働者健康安全機構中部労災病院 電話：052-652-5511（代） 担当者：猪飼浩樹（リウマチ膠原病・腎感染症内科 医長）
備考	